

1 基本情報

施策名	3 - 2 地域拠点でつなげる健康なまちづくり				戦略名	拠点創造プロジェクト			
担当	主担当部	市民環境経済部	主担当課	市民活動支援課					
	部長名	岡田 光一	関係課	危機管理課	高齢者福祉課	健康課	生涯学習課		

2 取組目標 (Plan)

取組目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>●小学校区を基本的な単位とした地域のまちづくりを進め、地域の特性に応じた魅力ある地域づくりと地域住民それぞれが自らの意欲や能力を発揮し、地域で活躍できる環境づくりを進めます。</li> <li>●地域住民の連携と協力による見守りや災害時などに相互に助け合うしくみづくり、各世代が主体的に健康づくりを実践する環境づくりなど、市民だれもが心身ともに健康で安心して暮らせる地域づくりを進めます。</li> </ul>
求める成果	地域住民主体で地域を守り、支え合い、健康に暮らせる環境が整う。 ⇒住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるまちになる。

3 令和4年(2022年)度取組状況 (Do①)

<b>取組1 小学校区を基本的な単位としたまちづくり協議会の設立の推進とまちづくりの人材育成</b>					
取組方針	各小学校区で福祉・子育て・防犯・防災などの様々な分野について、地域の課題やその解決方法を協議し、実践するまちづくり協議会の設立を進めます。また、地域づくりを活性化するため、行政・地域住民・市民団体をコーディネートする人材などを発掘・育成するとともに、地域で活躍できる学びの場や環境づくりを進めます。				
求める取組成果	まちづくりに対する意識が高まり、地域住民主体の地域活動が活性化する。				
取組内容	<p>設立された3つのまちづくり協議会において、それぞれの「まちづくり計画」に基づき、防災、防犯、福祉、子育て、環境など多様な地域課題の解決や魅力づくりに向けた地域住民主体の活動を行った。さらに、小学校区単位のまちづくりを進めるため、未設立小学校区の関係団体の代表者等に説明会とアンケートを実施し、4番目に設立を目指す小学校区として南山小学校区、5番目に清水口小学校区として決定し、南山小学校区では設立に向けた活動をスタートした。</p> <p>また、地域活動の活性化、まちづくりに係る人材を育成するため、地域におけるコーディネートテーマとした職員研修や市民講座を開催したほか、市民大学校（いきいきシニア学部、ささえあい育児学部）による参加交流型の講座を行い、自主的な学習の実践と地域の愛着、生きがいのある地域生活の実践を支援するとともに、地域づくりに対する意識の醸成を図った。</p>				
構成事業	事業名	評価	事業No	事業名	評価
	1 小学校区まちづくり協議会設立・運営支援事業	現状のまま継続	2	市民参加・協働の人づくり事業	改善して継続
	3 白井市民大学校事業	改善して継続			

取組2 地域における助け合いや支え合いの促進

取組方針	各地域において、地域住民それぞれが持つ能力を活かし、災害時における共助による地域防災力を強化するとともに、日常生活における見守り・家事支援などの身近な生活サービスが提供されるしくみをつくります。					
求める取組成果	地域に様々な活動の場が増え、地域コミュニティが活性化する。					
取組内容	<p>高齢者が住み慣れた地域で安心して生活し続けることができるよう、生活支援コーディネーターを中心に地域課題の把握、社会資源の創出に向けた取り組みの実施及び助け合い活動についての勉強会や担い手の養成を行った。また、生活上の課題を解決するための社会資源（ボランティア、サロン、支え合いの仕組みなど）を創出する会議（協議体）については、日常生活圏域単位ではなく、小学校区単位や自治会単位への働きかけによる少人数での開催とし、継続して検討を行った。</p> <p>また、地域における防災力を強化するため、ハザードマップ（内水）の全戸配布や地域の防災訓練への支援など防災意識の醸成を図った。さらに、消防団が安全に消火活動等を行えるよう資機材等を整備したほか、年間訓練を見直し、年2回から年4回の訓練を行うことでより実働的な訓練を実施した。</p>					
構成事業	事業No	事業名	評価	事業No	事業名	評価
	4	生活支援サービス体制整備事業	現状のまま継続	5	地域防災力向上事業	改善して継続
	6	消防団体制強化事業	改善して継続			

取組3 ライフステージに応じた健康づくりの推進

取組方針	地域住民や市民団体などと協働し、各世代がライフステージに応じて健康づくりを実践できる機会を充実します。					
求める取組成果	地域に様々な活動の場が増え、地域コミュニティが活性化する。					
取組内容	<p>市民だれもが「いつでも、どこでも、いつまでも」スポーツに親しめるように、地域スポーツの拠点である「総合型地域スポーツクラブ」を地域住民による自主的な運営を行うとともに、スポーツクラブの活動場所の確保やスポーツ指導者の育成など、「総合型地域スポーツクラブ」の活動を支援した。</p> <p>市民が集う場での白井なし坊体操（白井梨トトレ体操第2）を活用した運動習慣の大切さの啓発については、感染症対策をとってイベント等で実施した他、啓発資料の配布や市の広報紙、ホームページに掲載して周知した。</p> <p>住民主体で介護予防活動を行うグループの立ち上げ及び活動継続支援については、感染防止策を講じながら活動するよう支援し、計7団体の立ち上げと19団体への活動再開及び継続に繋がった。</p>					
構成事業	事業No	事業名	評価	事業No	事業名	評価
	7	総合型地域スポーツクラブ支援事業	現状のまま継続	8	地域健康づくり事業	改善して継続
	9	介護予防自主グループ支援事業	改善して継続			

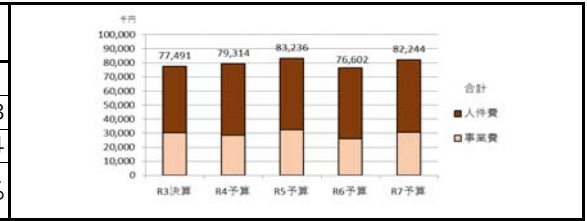
4 施策展開の状況 (Do②)

改善した取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動習慣と、人とのつながりをもって健康づくりを行うことの大切さを伝えるリーフレットを作成し、地域のイベントの際に配布した。</li> <li>・まちづくり協議会未設立小学校区の自治連合会支部や地区社会福祉協議会長、民生委員・児童委員協議会代表に対して、まちづくり協議会の必要性等を伝える説明会を計12回開催し、まちづくり協議会に対する意識の醸成を図るとともに、4番目に設立を目指す小学校区として南山小学校区、5番目に清水口小学校区として決定した。</li> <li>・まちづくり協議会支援職員公募に当たり、市の現状、地域の課題、まちづくり協議会の必要性などについても説明を行った。</li> </ul>
他分野他施策との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設立された「まちづくり協議会」では、市との共催や学校と連携した防災訓練、まちピカ大作戦（ゴミゼロ運動）などを行うなど、危機管理課、環境課などと連携協力しながら活動している。</li> <li>・生活支援サービス体制整備事業では、設立された「まちづくり協議会」との連携について検討を行った。</li> <li>・市民大学校において、市民活動支援課や高齢者福祉課、環境課と連携し、職員による介護予防や環境学習に係る講座を開催した。</li> </ul>
市民等との情報共有、参加・協働	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3つの「まちづくり協議会」では、それぞれ、広報誌を作成し、活動の様子を地域住民の方へ発信している。さらに、庁内システム内でもこれらの広報が閲覧できるように整備し、職員への周知に努めている。</li> <li>また、小学校区を対象とした防災訓練、まちピカ大作戦（ゴミゼロ運動）、地域子ども達を対象としたイベントなどを開催し、多くの市民が参加・協働した活動が行われている。</li> <li>・生活支援サービス体制整備事業では、生活支援コーディネーターが地域に出向き、地域住民とともに地域課題や社会資源の創出に向けた取組を行っている。</li> </ul>

5 施策推進コスト(Do③)

(千円、%)

年度 項目	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)
事業費	30,287	28,600	32,522	25,888	30,831
正職員人件費	47,204	50,714	50,714	50,714	51,413
合計	77,491	79,314	83,236	76,602	82,244
プロジェクト 内割合	10.6%	9.6%	9.4%	11.9%	13.2%



6 1次評価 (Check① & Action①)

(目標値設定の考え方は白井市第5次総合計画後期基本計画書の83頁を参照ください)

指標名	単位	基準値/基準年度		目標値	実績値					
				R7 (2025)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	
定量的評価 取組指標	小学校区まちづくり計画事業の実施率	%	-	-	80.0	70.0	77.8			
	まちサボ登録団体数	団体	87	R1 (2019)	92	98	100			
	自治会加入率	%	63.5	R1 (2019)	67.6	61.1	60.3			
	地域活動への参加率	%	31.0	R1 (2019)	35.0	42.7	41.9			
成果指標	地域で協力して地域課題を解決していると思う市民の割合	%	50.0	R1 (2019)	45.1	50.4	43.1			
	健康寿命の延伸(男)	歳	80.2	H28 (2016)	80.9	81.03	81.49			
	健康寿命の延伸(女)	歳	82.6	H28 (2016)	84.0	83.84	84.17			

<p>定性的評価</p> <p>設立された3つのまちづくり協議会では、市との共催や学校と連携した防災訓練を行ったり、企業と連携して中学生向けのデジタル体験会を開催したり、高校生のボランティアを集めて外来植物の駆除作業を行うなど多様な地域課題に対応した多様な主体の連携の取り組みが行われている。</p> <p>さらに、4番目に設立を目指す小学校区として南山小学校区、5番目に清水口小学校区として決定し、南山小学校区では設立に向けた活動をスタートするなど、今後の設立に向けた方向性等が明確となった。</p> <p>また、地域において、自主的に介護予防活動を行う自主グループや地域スポーツの拠点である「総合型地域スポーツクラブ」を地域で自主運営するなど、住民主体の多様な活動や拠点が創出されている。併せて、市民大学では新たな地域活動の担い手が生まれているほか、消防団や自主防災組織の活動に必要な機材等を整備し、地域における防災力の向上に努めるなど、住民主体の多様な活動、地域活動の担い手づくり、市民の連携による地域づくり、まちづくりが推進されている。</p>	<p>進捗状況</p> <p><input type="checkbox"/> 順調</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> おおむね順調</p> <p><input type="checkbox"/> やや遅れている</p> <p><input type="checkbox"/> 遅れている</p>
--	--

遅れている取組の原因	内部要因	外部要因
------------	------	------

施策を取り巻く環境の変化	<p>市の人口は、僅かながら減少し始めており、今後においても老年人口が増加し、年少人口や生産年齢人口は減少し続けるなど少子化・高齢化の進展も見込まれている。また、地域コミュニティの希薄化や地域の人材、担い手不足により、福祉・子育て・防犯・防災、環境など多様な地域課題に対応することがより困難となること懸念される。</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大の影響により、在宅時間の増加に伴う孤立や運動不足が懸念される一方で、健康意識の向上や地域活動に参加できる人や時間が増えることで、新たな地域コミュニティの形成や地域による助け合い・支え合いなどの地域活動が広がっていくことが期待される。</p>
--------------	---

課題	<p>喫緊の課題</p> <p>少子化・高齢化の進展やコミュニティ意識の希薄化などにより、地域の人材、担い手不足が一層進むことが予想される。また、新型コロナウイルスの影響により、夏まつりなど長年中止となっているイベント等の再開に向けて、再開の時期や間隔があいたことによるスムーズな活動の再開等が懸念される。</p>	<p>中長期的な課題</p> <p>多様化する地域課題に対応するためには、市民が地域の課題を自分事として捉え、地域の方々が協力し合いながら解決するなど、住み良い地域づくりを進めるといふ自治意識を高めることが重要な課題である。</p>
----	---	--

施策の方向性(改善策)	<p>短期的な方向性</p> <p>設立された「まちづくり協議会」の活動実績等を紹介しながら、未設立の小学校区において「まちづくり協議会」の設立に向けた説明を行い、新たに設立を目指す小学校区に南山小学校区、その次に清水口小学校区として決定し「まちづくり協議会」の設立を目指していく。</p>	<p>中長期的な方向性</p> <p>それぞれの小学校区において「まちづくり協議会」の設立に向けた機運を醸成し、小学校区単位のまちづくりの活動の輪を広げていく。また、介護・健康・子育て・防犯・防災・環境など多様な地域課題に対して、多様な主体の連携によって「まちづくり協議会」が課題に対応するなど、「まちづくり協議会」を主体とした地域づくり、まちづくりができるような安定した組織、体制強化、意識の醸成を図る。</p>
-------------	---	---

進め方	<p><input type="checkbox"/> 行政の役割を拡大 <input type="checkbox"/> 現在の行政と市民の役割分担・協働を維持 <input checked="" type="checkbox"/> 市民の役割・協働を拡大</p> <p>地域の多様な主体が連携、協働し、地域づくり、まちづくりを推進していく仕組みづくりと意識の醸成を図り、一つ一つのプロセスの積み重ねを大切にしながら、市民一人ひとりの自治意識の醸成を図っていくことが重要である。</p>
-----	--

7 2次評価 (Check② & Action②)

白井市行政評価委員会による評価

・消防団体制強化事業については、全国的に消防団員が減少している状況を踏まえ、団員確保のための新たな事業展開を図っていく必要がある。

・小学校区まちづくり協議会については、順次設立を進める中、今後、市民主体の持続的な活動を展開していくための人材の育成や掘り起しが必要である。

8 3次評価 (Check③ & Action③)

総合計画審議会による評価

9 3次評価の改善意見等への対応